



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東 名

上場会社名 アイカ工業株式会社

コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長

(氏名) 森永 博之

TEL 052-409-8261

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	29,920	34.2	2,480	10.6	2,651	11.8	1,444	11.3
25年3月期第1四半期	22,303	9.9	2,242	23.8	2,371	22.9	1,297	11.0

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 3,367百万円 (205.5%) 25年3月期第1四半期 1,102百万円 (△1.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	22.13	22.11
25年3月期第1四半期	19.88	19.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	119,040	87,168	70.1
25年3月期	119,301	85,006	68.6

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 83,472百万円 25年3月期 81,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	17.00	—	19.00	36.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	63,000	31.9	5,900	9.4	5,950	8.8	3,400	9.2	52.11
通期	135,000	33.2	13,400	11.0	13,500	6.8	7,800	2.2	119.54

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	67,590,664 株	25年3月期	67,590,664 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	2,340,466 株	25年3月期	2,339,783 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	65,250,344 株	25年3月期1Q	65,252,501 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3 ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成24年12月の政権交代以降、円高の是正や株価の上昇など経済回復への期待感から消費者心理の改善がみられ、景気は回復基調で推移いたしました。しかしながら、海外経済の動向や、雇用、所得環境等、依然として不透明な状況が残されています。

このような経営環境の下、当社グループは、顧客に密着した営業活動の強化、市場ニーズにマッチした新商品開発と機能材料事業の強化などを推進いたしました。また、当社が平成24年12月に株式を取得いたしました、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社及びその子会社の業績が、当第1四半期連結累計期間より組み入れられ、業績に大きく寄与いたしました。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高29,920百万円（前年同四半期比34.2%増）、営業利益2,480百万円（前年同四半期比10.6%増）、経常利益2,651百万円（前年同四半期比11.8%増）、四半期純利益1,444百万円（前年同四半期比11.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。

(化成品セグメント)

接着剤系商品は、木工・家具向け汎用接着剤は低迷したものの、合板用接着剤および建築施工用接着剤、ならびに新規分野として取り組んでいる太陽電池向け接着剤や自動車向け接着剤が順調に推移いたしました。一方、海外では、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社の子会社が、アジア・太平洋地域における接着剤・産業用樹脂の需要を取り込むことができた結果、売上を伸ばすことができ、連結業績に大きく寄与いたしました。

樹脂系商品は、塗り床材「ジョリエース」が厳しい状況で推移いたしました。外装・内装仕上塗材「ジョリバット」が戸建市場の活況と大手住宅メーカーでの採用増などにより、売上を伸ばすことができました。

有機微粒子は、化粧品用途を中心に、堅調に推移いたしました。

このような結果、売上高は14,724百万円（前年同四半期比89.0%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）824百万円（前年同四半期比46.4%増）となりました。

(建装材セグメント)

建装材セグメントの主力市場である非住宅市場は、商業施設の着工が連続して前年を上回るなど明るい兆しが見られますが、建設現場での工事の遅れなどの影響で、現時点においては動きが鈍く、全体としては厳しい結果となりました。

しかしながら、高い意匠性と指紋などの汚れが目立ちにくい特性を持つメラミン化粧板「セルサス」、汎用性の高い単色メラミン化粧板「カラーシステムフィット」、耐摩耗性・耐汚染性に優れる化粧ボード「マーレスボード」など、特徴ある商品は売上を伸ばすことができました。また、0.7mmという薄さで不燃性を兼ね備えた薄物メラミン不燃化粧板「アイカフレアテクト」は、医療・介護施設や教育施設、地下街の商業施設での安心・安全を求めるニーズを背景に売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は6,284百万円（前年同四半期比2.1%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）1,088百万円（前年同四半期比0.4%減）となりました。

(住器建材セグメント)

不燃化粧材「セラルル」は、住宅市場では、新築のほか、リフォームにおいてもキッチン・洗面などの水回り空間での採用を増やすことができました。非住宅市場では、店舗、教育施設、医療・介護施設などにおいて、改修用途も含めた幅広い需要をとらえ、順調に売上を伸ばすことができました。

メラミン化粧板を曲面加工したポストフォーム商品は、住宅およびマンションのキッチン扉や、店舗、医療・介護施設用什器を中心に好調に推移し、天然水晶を原材料にした高級人造石カウンター「フィオレストーン」は、豊富なデザインや優れた機能が評価され、集合住宅のキッチンカウンターを中心に採用が増えました。また、医療・介護施設、高齢者住宅に適した機能引戸「U. D.（ユニバーサルデザイン）コンフォートシリーズ」は、サービス付高齢者向け住宅の着工増と個人クリニックでの採用増により、売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は7,556百万円（前年同四半期比8.0%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）1,060百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。

(電子セグメント)

電子材料は、光学フィルム向けUV（紫外線）硬化型ハードコート樹脂「アイカイトロン」がタッチパネル市場の拡大とともに売上を伸ばすことができました。

プリント配線板は、半導体関連・工作機械などの分野で回復基調にあります。開発案件の減少に伴うパターン設計の大幅な減少により、売上・利益ともに前年を下回りました。

このような結果、売上高は1,355百万円（前年同四半期比0.4%減）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）152百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ261百万円（0.2%）減少し、119,040百万円となりました。主な資産の増減は「受取手形及び売掛金」が、2,245百万円減少したこと、「商品及び製品」が855百万円増加したことなどによるものであります。負債は前連結会計年度末に比べ2,423百万円（7.1%）減少し、31,872百万円となりました。主な負債の増減は「支払手形及び買掛金」が1,601百万円、「未払法人税等」が1,728百万円減少したこと、「賞与引当金」が476百万円増加したことなどによるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べ2,161百万円（2.5%）増加し、87,168百万円となりました。主な増減は「四半期純益」1,444百万円、剰余金の配当1,239百万円により、「利益剰余金」が204百万円増加し、「為替換算調整勘定」が1,204百万円、「少数株主持分」が510百万円増加したことなどによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.5ポイント増加し、70.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、平成25年度4月30日公表の業績予想からは変更ありません。景気の先行きは不透明感を増しており、今後の景気の動向によって第2四半期連結累計期間及び通期の業績見込みについては見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,981	18,541
受取手形及び売掛金	42,936	40,690
商品及び製品	4,616	5,472
仕掛品	546	607
原材料及び貯蔵品	4,239	4,081
その他	3,436	4,106
貸倒引当金	△184	△191
流動資産合計	74,573	73,307
固定資産		
有形固定資産	25,987	26,609
無形固定資産		
のれん	5,899	5,881
その他	1,666	1,710
無形固定資産合計	7,565	7,592
投資その他の資産		
その他	11,649	11,992
貸倒引当金	△474	△461
投資その他の資産合計	11,175	11,530
固定資産合計	44,728	45,732
資産合計	119,301	119,040
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,074	20,472
短期借入金	858	1,025
未払法人税等	2,907	1,178
賞与引当金	1,524	2,000
その他	4,515	4,556
流動負債合計	31,880	29,234
固定負債		
長期借入金	422	432
退職給付引当金	403	468
その他	1,588	1,736
固定負債合計	2,415	2,637
負債合計	34,295	31,872

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,269	13,269
利益剰余金	60,023	60,227
自己株式	△2,437	△2,428
株主資本合計	80,746	80,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,420	1,650
繰延ヘッジ損益	△4	△31
為替換算調整勘定	△311	893
その他の包括利益累計額合計	1,103	2,512
新株予約権	47	77
少数株主持分	3,108	3,618
純資産合計	85,006	87,168
負債純資産合計	119,301	119,040

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	22,303	29,920
売上原価	15,964	21,840
売上総利益	6,339	8,080
販売費及び一般管理費	4,097	5,599
営業利益	2,242	2,480
営業外収益		
受取利息	8	12
受取配当金	94	108
その他	93	173
営業外収益合計	196	294
営業外費用		
支払利息	1	16
売上割引	21	30
その他	43	76
営業外費用合計	66	123
経常利益	2,371	2,651
特別損失		
投資有価証券評価損	184	—
特別損失合計	184	—
税金等調整前四半期純利益	2,187	2,651
法人税、住民税及び事業税	779	1,107
法人税等調整額	74	△95
法人税等合計	853	1,011
少数株主損益調整前四半期純利益	1,333	1,639
少数株主利益	36	195
四半期純利益	1,297	1,444

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,333	1,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△145	229
繰延ヘッジ損益	△3	△26
為替換算調整勘定	△82	1,524
その他の包括利益合計	△231	1,727
四半期包括利益	1,102	3,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,044	2,852
少数株主に係る四半期包括利益	57	515

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	化成品	建装材	住器建材	電子	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,791	6,152	6,999	1,361	22,303	—	22,303
セグメント間の内部 売上高又は振替高	611	437	—	—	1,048	△1,048	—
計	8,402	6,589	6,999	1,361	23,352	△1,048	22,303
セグメント利益	563	1,093	1,003	150	2,810	△568	2,242

(注) 1 セグメント利益の調整額△568百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△568百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	化成品	建装材	住器建材	電子	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,724	6,284	7,556	1,355	29,920	—	29,920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	744	469	—	—	1,213	△1,213	—
計	15,468	6,753	7,556	1,355	31,134	△1,213	29,920
セグメント利益	824	1,088	1,060	152	3,127	△646	2,480

(注) 1 セグメント利益の調整額△646百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△644百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。